



あま 庵主 松田清幸のすいも 尼いも

「真言宗 長幸寺」の庵主・松田清幸(せいこう)師が、
読者の悩みに心ほぐれるアドバイスをおこないます。

〈長幸寺／野々市中学校前(野々市市三納3丁目33番地) ☎076-248-4441〉

<http://www.siwase-deai.com>

今回の相談／大変ふしつげな質問で恐縮なのですが、熊本地震のような大災害が起きるたび、宗教者にお聞きしたいと思っておりました。亡くなった方の中には善男善女、あつい信仰心を持った方もいらっしゃると思いますが、なぜ無念な死に方をしなければならぬのでしょうか。信仰する宗教に無力感を感じてしまいます。
(金沢市・28歳)

無念な死、宗教に無力感

「生老病死」という言葉を乗り越えていこう葉があります。誤解を恐と努力するとき、人は祈れずに申し上げるなら、人間は死ぬために生まれてくる。永遠に変わらぬものなど、何一つありません。たとえこの地球上のどこに暮らしていたとて、運命には逆らえません。このところ、あちらこちらで起きてくる天変地異も、明日は「我が身」かもしれません。私たちは思わぬ不幸な出来事や災難に遭遇したとき、ややもすれば絶望に打ちめされそうになってしまう。しかし、

それを乗り越えていこうと努力するとき、人は祈ることでやすらぎを得られます。宗教とは現世利益を祈ることではなく、みほとけの命を相続し、心の平安を求めて自他共に祈ることだと思います。熊本地方の皆様のご無事とお亡くなりになりましたおみたまに、心からの鎮魂の祈りをお捧げいたします。 合掌



松田清幸師への相談を募集しています

“平成のかけこみ寺”の松田清幸師が、みなさんからの相談に丁寧にアドバイスしますよ。相談内容、住所、氏名、年齢、電話番号を明記の上、ハガキか封書でお送りください。〒920-0919 金沢市南町2-1 北國リビング新聞社「すいも尼いも」係まで。

ご予約はお電話かメール(seikou@siwase-deai.com)とお願いたします。